

# 進めています！自己改革



今、私たちは、「**農業者の所得増大**」「**農業生産の拡大**」「**地域の活性化**」の3つの目標を掲げ、平成31年3月までに一定の成果を上げることを目指し、佐賀農業・地域を支える大きな役割を果たす組織として自己改革を進めています。自己改革について十分な結果が残せるように、私たちは、その具体策を3カ年計画や各事業年度の計画をたて、組合員の皆さんの声を聴き、真剣に議論して確かな方向性を見出す協同組合としての自己改革を進めていきます。

JAからつが取り組んでいる自己改革の一部を紹介します

## 畜産部が取り組む 「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」への更なる挑戦

### 畜産部の目指す姿

消費者の信頼にこたえ、安全で安心な『唐津・玄海』の畜産物を持続的・安定的に供給できる地域農業を支え、農業者の所得増大を支える姿。

畜産部として『食と農を基軸として地域に根差した協同組合としての総合力発揮』

### 農業・農村の危機



高齢社会、過疎化、人手担い手不足・・・



農業生産基盤の縮小、脆弱化・・・

### キャトルステーションの利活用 (子牛共同育成施設)

H25年度末 470頭 → 現在 約**740**頭 (対比 157%)

総合的な労働力の支援、生産コストの低減、品質の向上！

繁殖 & 肥育農家からの信頼が大きくなってきた。

### 全農と協力した 受精卵移植事業の推進

H29年度 採卵実施頭数 **176**頭  
受精卵販売 **1,579**個

和牛生産拡大、受精卵販売、受胎率向上、酪農経営支援！

新たな価値を創造し畜産基盤を強化。

